

令和 8 年 2 月 4 日
世 田 谷 保 健 所
感 染 症 対 策 課

令和 8 年度予防接種事業について

令和 8 年度予防接種事業について以下のとおり報告する。

1 新規

(1) R S ウイルス母子免疫ワクチン接種の定期接種化

①主旨

R S ウイルス感染症は、R S ウイルスによって引き起こされる呼吸器感染症であり、特に乳幼児に多く見られる。中でも、生後 6 か月未満の乳児が感染した場合には、重症化するリスクが高いとされている。

この感染症を予防するため、妊婦への接種によって母体から胎児へ抗体が移行する「母子免疫ワクチン接種」を法に基づく定期接種として実施することが国から示された。

これを受け、区は、以下のとおり定期接種を実施する。

②事業概要

- ア 開 始 時 期 令和 8 年 4 月 1 日
- イ 対 象 者 妊娠 2 8 週から 3 7 週に至るまでの方
- ウ 対象ワクチン 組換え R S ウイルスワクチン
- エ 接 種 回 数 妊娠毎に 1 回
- オ 接 種 費 用 無料（全額公費負担）
- カ 実 施 方 法 区内指定医療機関での個別接種（特別区他相互乗り入れあり）
里帰り等により特別区外医療機関等で接種した場合は、償還払い
で対応
- キ 周 知 方 法 対象者には予診票を送付するとともに、区のおしらせ、区ホーム
ページ及びポスター掲示付等により周知する。

③予算（案）

2 5 5，3 2 0 千円（接種にかかる医師会委託料等）

※特定財源 5 0，4 7 7 千円（相互乗り入れによる受託事業収入）

2 変更

(1) HPV定期予防接種における使用ワクチンの変更

①主旨

現在、HPVワクチンには2価・4価・9価の3種類があり、いずれも女性を対象とする定期接種に用いられている。しかし、9価ワクチンが定期接種の対象となつて以降、2価及び4価ワクチンの接種者数は大幅に減少傾向にあることから、これらを定期接種の対象から除外することが国から示された。

これを受け、区は、以下のとおり定期接種を実施する。

②事業概要

ア 変更時期 令和8年4月1日

イ 対象者 小学6年生～高校1年生相当年齢の女性

ウ 使用ワクチン 変更前：2価、4価及び9価ワクチン
変更後：9価ワクチンのみ

エ 接種回数 3回／人
ただし、9価ワクチンで、1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合は2回

オ 接種費用 無料（全額公費負担）

カ 実施方法 区内指定医療機関での個別接種

キ 周知方法 区ホームページ、ポスター掲示等により周知する。

③予算（案）

263, 174千円（接種にかかる医師会委託料）

※特定財源 12, 066千円（相互乗り入れによる受託事業収入）

(2) 高齢者肺炎球菌定期予防接種における使用ワクチンの変更

①主旨

高齢者に対する肺炎球菌ワクチンは、平成26年10月に予防接種法上のB類疾病に位置づけられ、これまで23価肺炎球菌莢膜（きょうまく）ポリサッカライドワクチン（PPSV23）を用いて定期接種を行ってきたが、この度、国から、定期接種で使用するワクチンの変更が示されたことを受け、区は、以下のとおり定期接種を実施する。

②事業概要

ア 変更時期 令和8年4月1日

イ 対象者

（ア）65歳の方

（イ）60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓又は呼吸器の機能障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有する方

ウ 使用ワクチン

変更前：23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン（PPSV23）

変更後：沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）

エ 自己負担額 三者協協議にて調整中

オ 実施方法 区内指定医療機関での個別接種（特別区相互乗り入れあり）

カ 周知方法 区のおしらせ、区ホームページによる周知のほか、対象者には予診票を送付する。なお、令和7年度に予診票を発送済みの対象者には、予診票の再発送は行わない。

③予算（案）

21,260千円

※特定財源 1,377千円（相互乗り入れによる受託事業収入）

3 拡充

（1）男性HPV任意予防接種費用助成に係る対象ワクチンの追加

①主旨

区は、東京都の補助事業を活用し、男性がHPVの任意の予防接種を受けるための費用を助成している。

この度、東京都が、令和8年度より、補助対象のワクチンを、従来の4価ワクチンから9価ワクチンに変更することを公表したことを受け、区は、助成対象ワクチンに9価ワクチンを追加し、以下のとおり費用助成事業を実施する。

②事業概要

ア 変更時期 令和8年4月1日

イ 対象者 小学6年生～高校1年生相当年齢の男性

ウ 対象ワクチン 4価ワクチン、9価ワクチン（追加）

エ 助成回数 3回／人

ただし、9価ワクチンで、1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合は2回

オ 自己負担 なし

助成単価 4価ワクチン 17,666円／回

9価ワクチン 30,069円／回

カ 実施方法 区内指定医療機関での個別接種

キ 周知方法 区ホームページ、ポスター掲示等により周知する。

③予算（案）

35,353千円

※特定財源 17,870千円（都補助金）

(2) 带状疱疹任意予防接種費用助成対象者の拡大

①主旨

区は、東京都の特別補助事業を活用し、令和7年度まで带状疱疹任意予防接種の費用助成を行ってきたが、带状疱疹は高齢化とともに発症が増える病気であり、令和7年度では任意予防接種費用助成の対象外であった、定期接種の対象とならない65歳以上の方にも接種機会を提供することで、医療費抑制等の効果も認められることから、対象者を拡大したうえで費用助成を継続する。

②事業概要

ア 開始時期 令和8年4月1日

イ 対象者

変更前 (ア) 50歳以上65歳未満の方 (定期接種対象者を除く)

(イ) 带状疱疹発症リスクの高い18歳以上50歳未満の方

変更後 (ア) 50歳以上の方 (定期接種対象者を除く)

(イ) 带状疱疹発症リスクの高い18歳以上50歳未満の方

ウ 費用助成

(ア) 生ワクチン (1回) 4,000円

(イ) 不活化ワクチン (2回) 11,000円/回

エ 実施方法 区内指定医療機関での個別接種

オ 周知方法 区のおしらせ、区ホームページ、ポスター掲示等により周知する。

③予算 (案)

104,828千円

【参考：定期接種対象者】

- ・ 65歳の方
- ・ 60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方
- ・ 5年間の経過措置として、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方 ※101歳以上の方については、令和7年度に限り全員対象

(3) 子どもインフルエンザ予防接種費用助成対象者の拡大

①主旨

区は、子どものインフルエンザの発症及び重症化並びに感染拡大を防止するため、子どもがインフルエンザの予防接種を受けるための費用の一部を助成している。現在は、生後6か月から15歳（中学校）までを助成対象としているが、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育てをより一層支援するため、対象者を高校3年生相当年齢までに拡大する。

②事業概要

ア 実施期間 令和8年10月1日～令和9年1月31日

イ 対象者 変更前：生後6か月～15歳（中学校）まで

変更後：生後6か月～高校3年生相当年齢まで

ウ 対象ワクチン、助成回数及び助成額

対象ワクチン	不活化ワクチン	経鼻弱毒生ワクチン
助成回数	生後6か月～12歳 2回 13歳～高校3年生相当年齢 1回	2歳～高校3年生相当年齢 1回
助成額	2,000円／回	4,000円／回

エ 実施方法 区内指定医療機関での個別接種

オ 周知方法 区のおしらせ、区ホームページ、ポスター掲示等により周知する。

③予算（案）

229,230千円

※特定財源 419千円（国庫補助金）、89,978千円（都補助金）

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年3月中旬 RSウイルス母子免疫ワクチン事業周知
（区のおしらせ3月15日号掲載、区ホームページ等）

令和8年3月下旬 RSウイルス母子免疫ワクチン予診票発送（以後、毎月発送）

令和8年4月1日 区のおしらせ掲載（男性HPV、高齢者肺炎球菌、带状疱疹）

令和8年4月15日 区のおしらせ掲載（RSウイルス母子免疫ワクチン）

令和8年4月下旬 高齢者肺炎球菌予診票発送開始（以後、毎月発送）

令和8年9月15日 区のおしらせ掲載（子どもインフルエンザ）

令和8年10月1日 子どもインフルエンザ予防接種費用助成対象者拡大